

若年層中心に食の経済性志向強まる － 日本公庫・平成24年度上半期消費者動向調査結果 －

日本政策金融公庫（日本公庫）農林水産事業が7月に実施した平成24年度上半期消費者動向調査で消費者の食の志向や国産品に対する意識について調査したところ、若年層を中心に食の経済性志向が強まっていることが判明しました。詳細は以下のとおりです。

<調査結果のポイント>

○ 消費者の健康志向は関心度高く高水準、経済性志向が反転し増加(図1・2)

消費者の健康志向は44.9%と前回（平成24年1月）調査同様、最も高い回答割合となっている。今後の志向についても46.8%で高水準を続け、健康志向の根強さがうかがえる。

また、食費を節約する経済性志向が過去4回の調査で低下傾向だったが今回調査で反転、前回調査から5.3ポイント上昇し39.7%となった。

加えて手作り志向も26.7%と前回調査から7.2ポイント上昇し、過去最大の上げ幅となった。

一方で、東日本大震災後の23年7月調査で28.5%にまで高まった安全志向は、今回調査では19.9%とほぼ震災前の水準に戻った。

国産志向は23年7月調査の16.0%から徐々に低下し、今回12.4%となっている。

○ 20歳代から50歳代で経済性志向が急激に増加(図3-1・3-2)

年代別にみると、健康志向と手作り志向は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。これと対照的なのが経済性志向と簡便化志向で、若い層ほど割合が高い結果となった。特に20歳代と70歳代を比較すると、健康志向では35.2ポイント、経済性志向では39.0ポイントの乖離が見られた。

前回調査と比較すると、経済性志向は20歳代から50歳代の各層で割合が高まっており、特に20歳代では14.1ポイント（43.2%→57.3%）と大幅な上昇となっている。60歳代（24.3%→25.4%）では大きな変化はなく、70歳代（21.3%→18.3%）では割合が低下しており、若年層とシニア層で対照的な結果となった。

一方で、安全志向は全年代で割合が低下しており、特に20歳代の層での低下（17.3%→10.3%）が顕著となっている。

○ 国産品かどうか気にかける割合が低下、4年前に比べ最低水準(図4・5)

食料品を購入するときや外食するとき国産品かどうか気にかける割合は、20年5月の調査開始以来、最低となった。

一方で、国産食品に対するイメージに大きな変化はないが、国産食品の安全面に対するイメージは、前回調査と比べ「安全である」と回答した割合が5.4ポイント増加し、「国産＝安全」への信頼は低下傾向に歯止めがかかった。また、輸入食品に対して「安全面に問題がある」と回答した割合は低下傾向にある。

○ 輸入食品への抵抗感薄れるが、米・野菜・きのこは国産品を選択(図6～8)

国産食品の輸入食品に対する価格許容度を聞いたところ、割高でも国産品を選ぶと回答した割合は51.2%に低下し、20年5月の調査開始以来、最低となった。厳しい経済情勢を反映し低価格を求める消費者の志向は根強く、価格許容度が低下する結果となった。

品目別で見ると、米、野菜、きのこについては、割高でも国産品を選ぶ割合が50%を超えている。一方で、果物や食肉類、魚介類については割高でも国産品を選ぶ割合はいずれも50%を下回っており、国産品を選択する割合が低くなっている。

また、普段抵抗なく買っている輸入食品について聞いたところ、米、野菜、きのこ、冷凍野菜、冷凍食品についても消費者の抵抗感がうかがえる結果となった。一方で、牛肉や乳製品、菓子、果物については、約半数が抵抗なく買っている結果となった。

調査時期	平成24年7月1日～7月12日
調査方法	インターネットによるアンケート調査
調査対象	全国の20歳代～70歳代の男女2,000人(男女各1,000人)

図1 現在の食の志向(上位)の推移

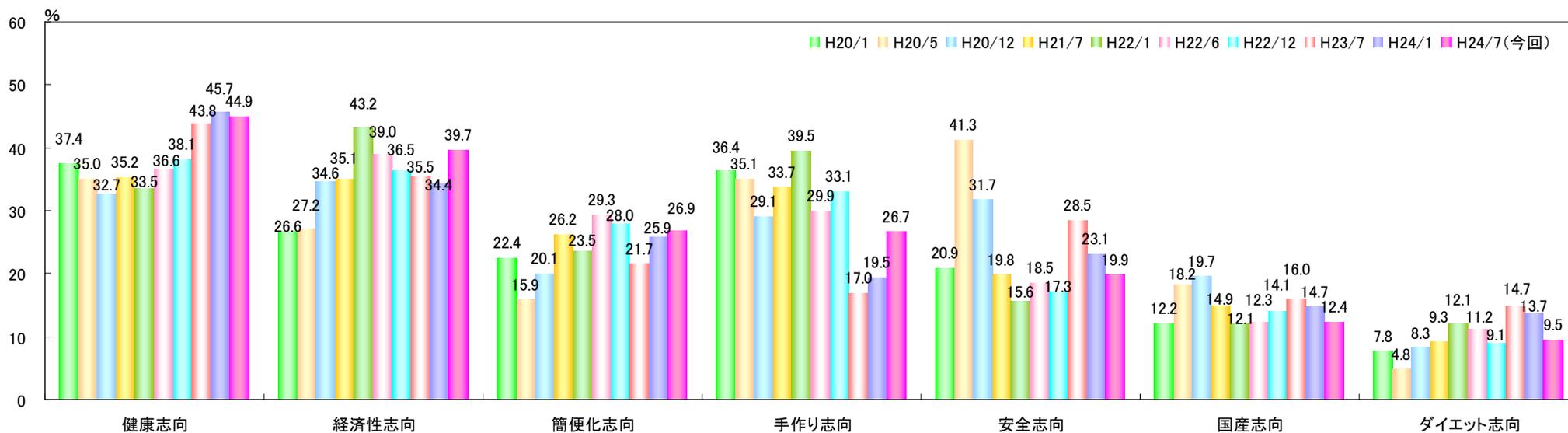


図2 今後の食の志向(上位)の推移

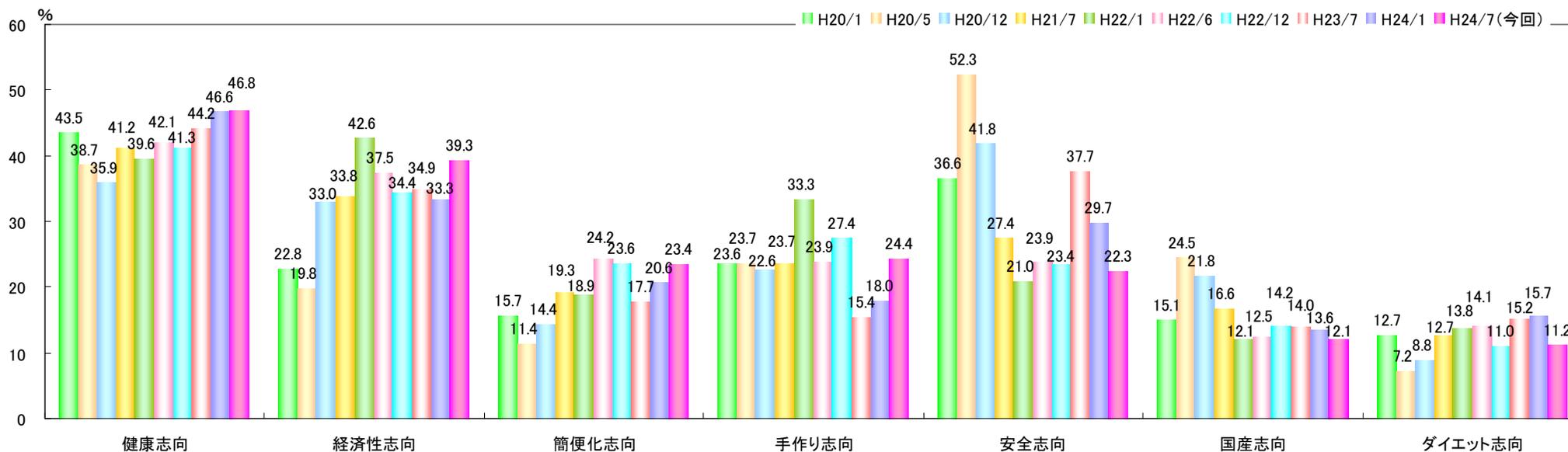


図3-1 現在の食の志向(上位・年代別):今回(H24/7)調査

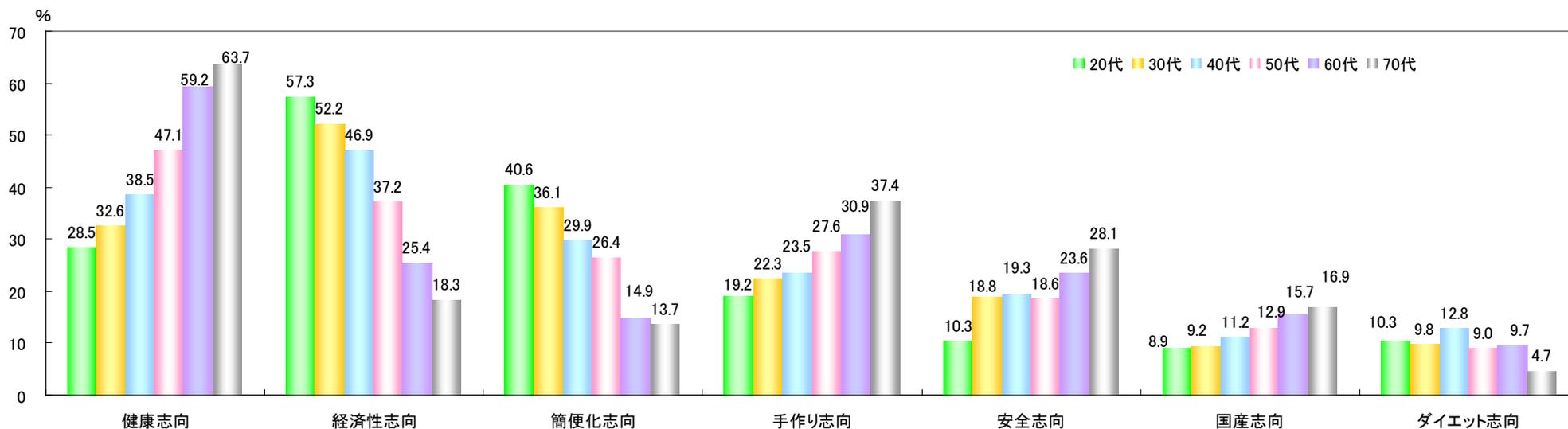


図3-2 現在の食の志向(上位・年代別):前回(H24/1)調査

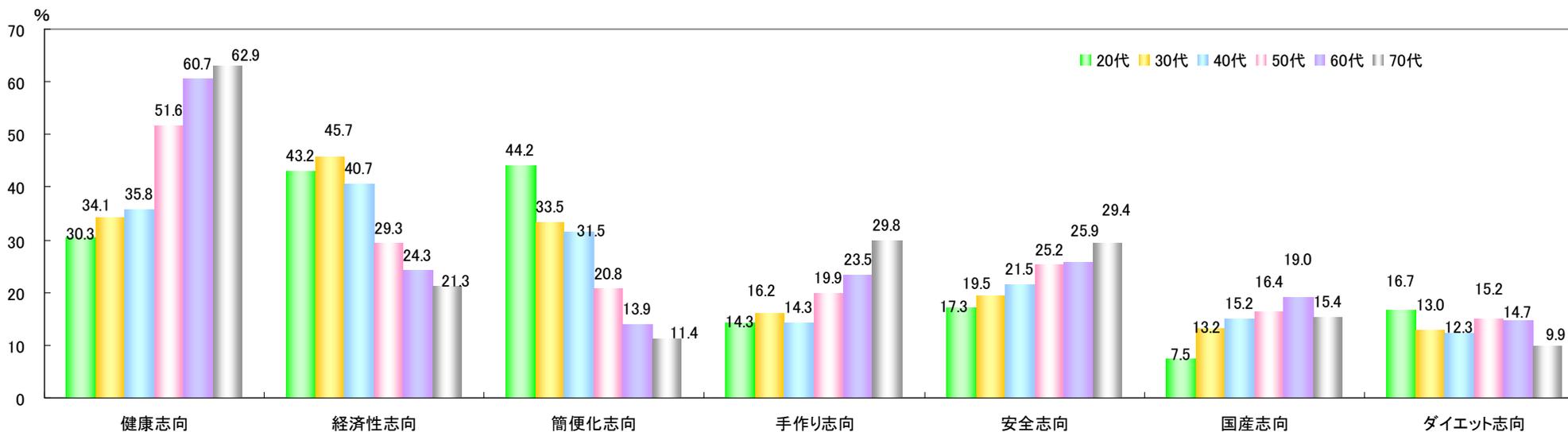
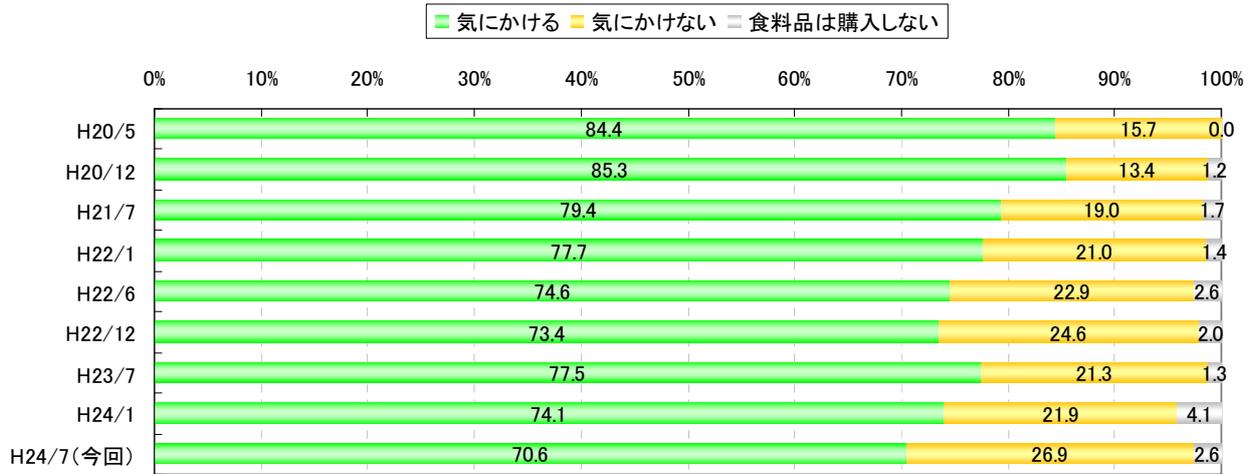


図4 食料品を購入するとき/外食するとき国産品かどうかを気にかけるか

(1) 食料品を購入するとき



(2) 外食するとき

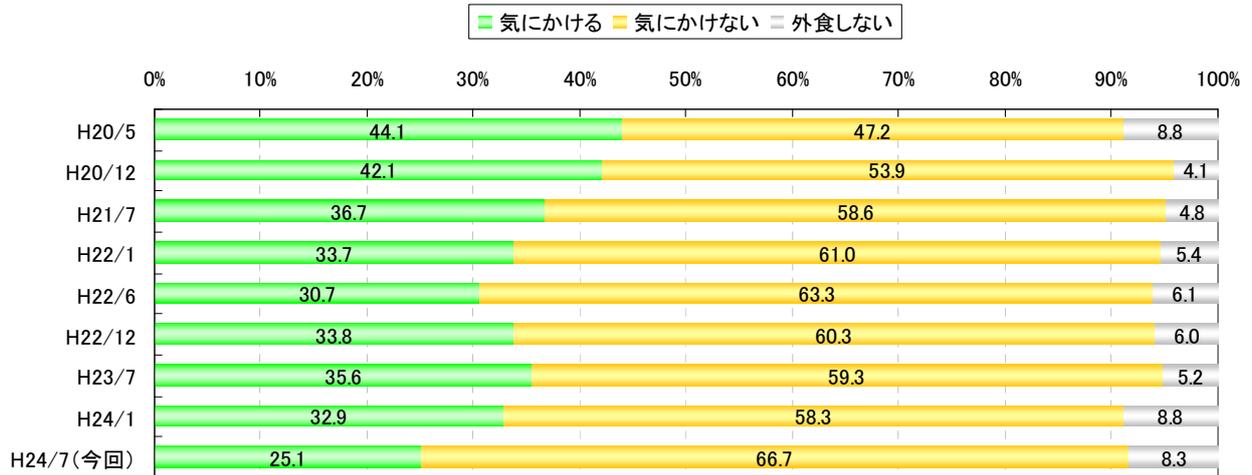
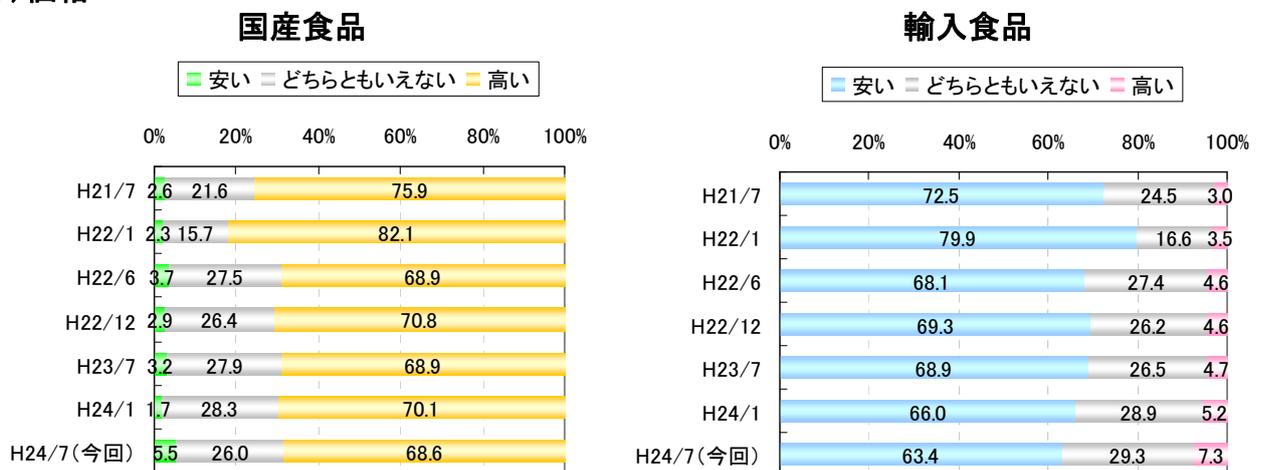


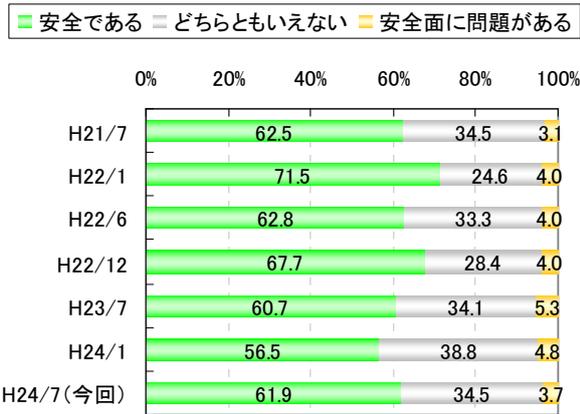
図5 国産原料の食品/輸入食品に対するイメージ

(1) 価格

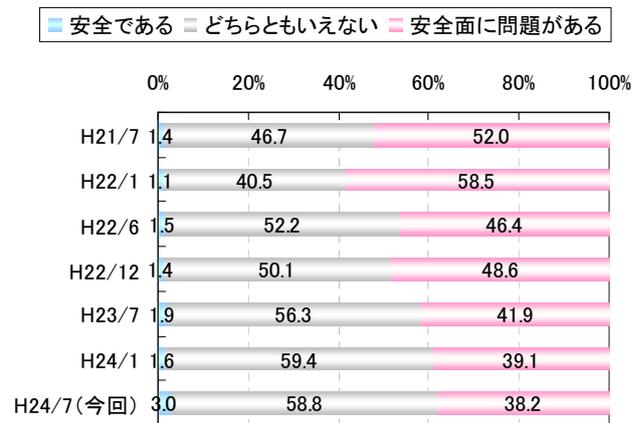


(2)安全面

国産食品

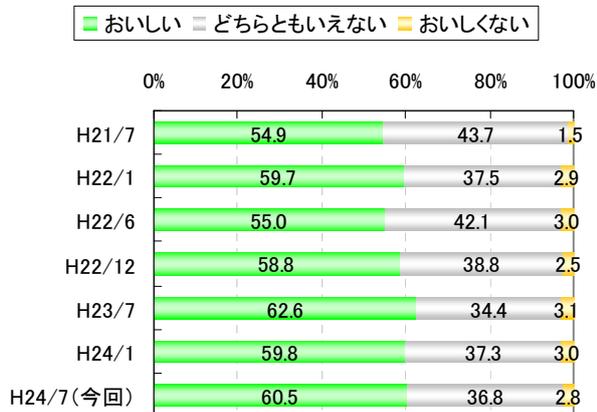


輸入食品

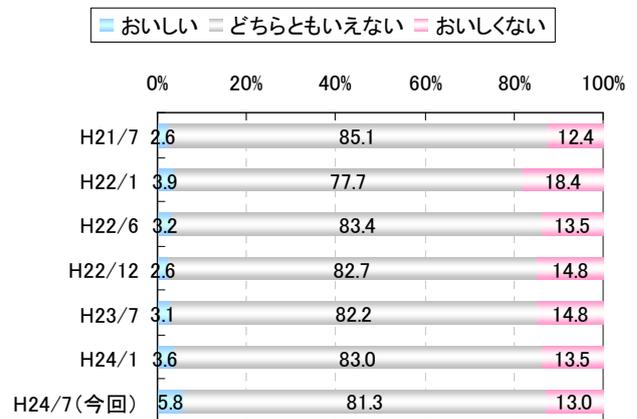


(3)おいしさ

国産食品

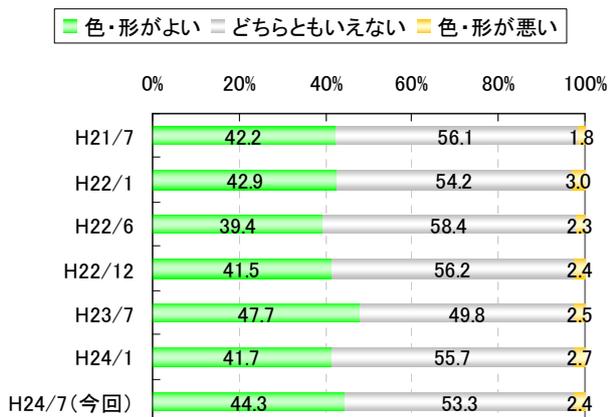


輸入食品



(4)見た目

国産食品



輸入食品

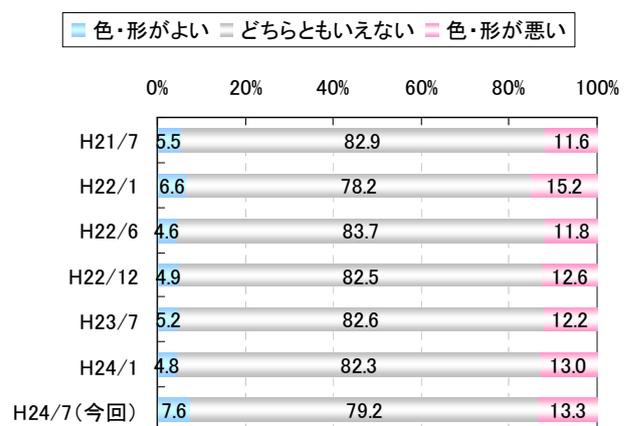


図6 国産食品の輸入食品に対する価格許容度

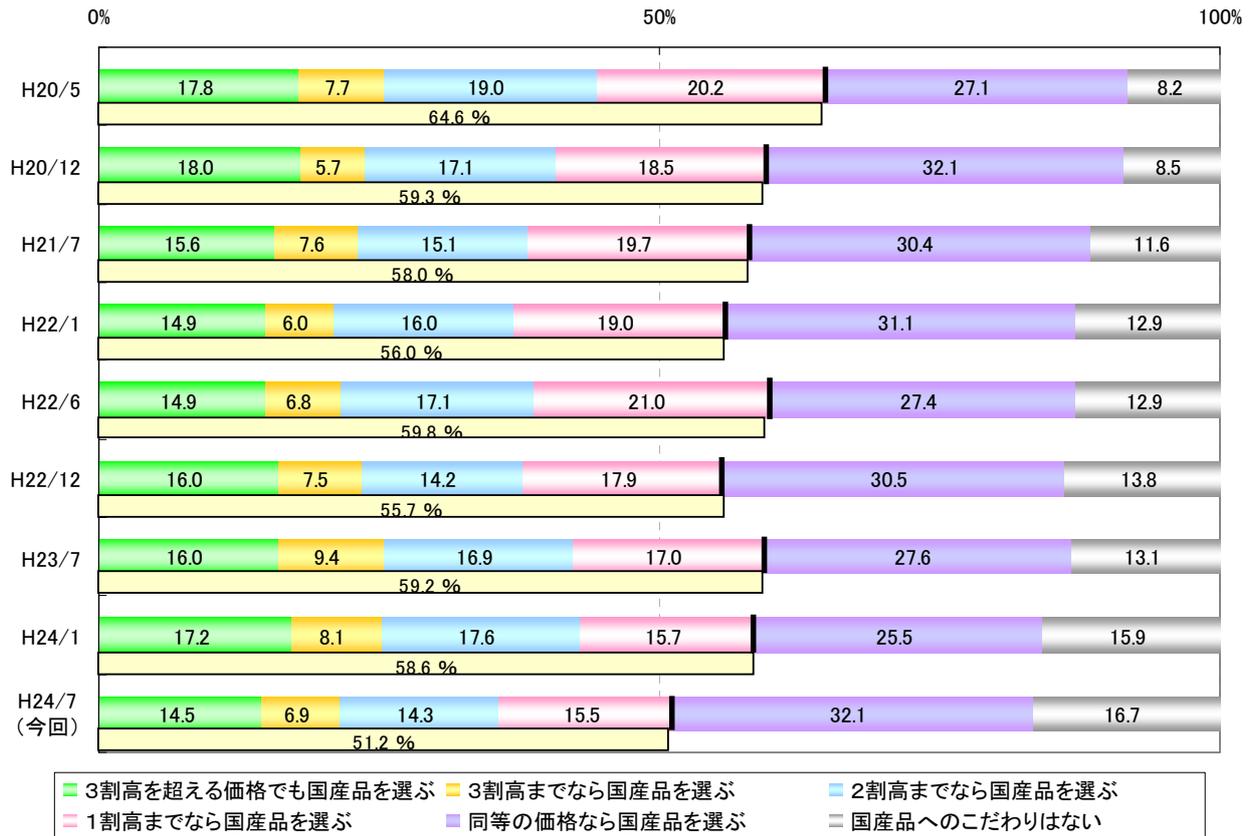
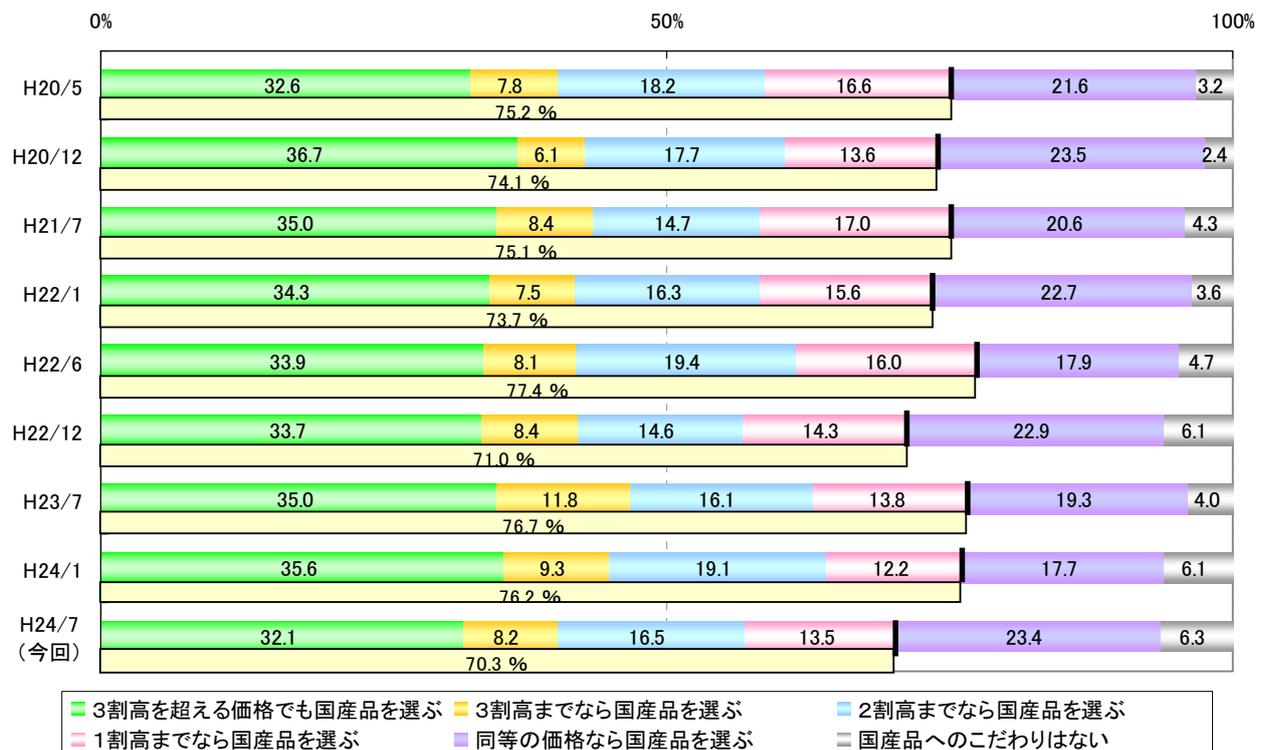
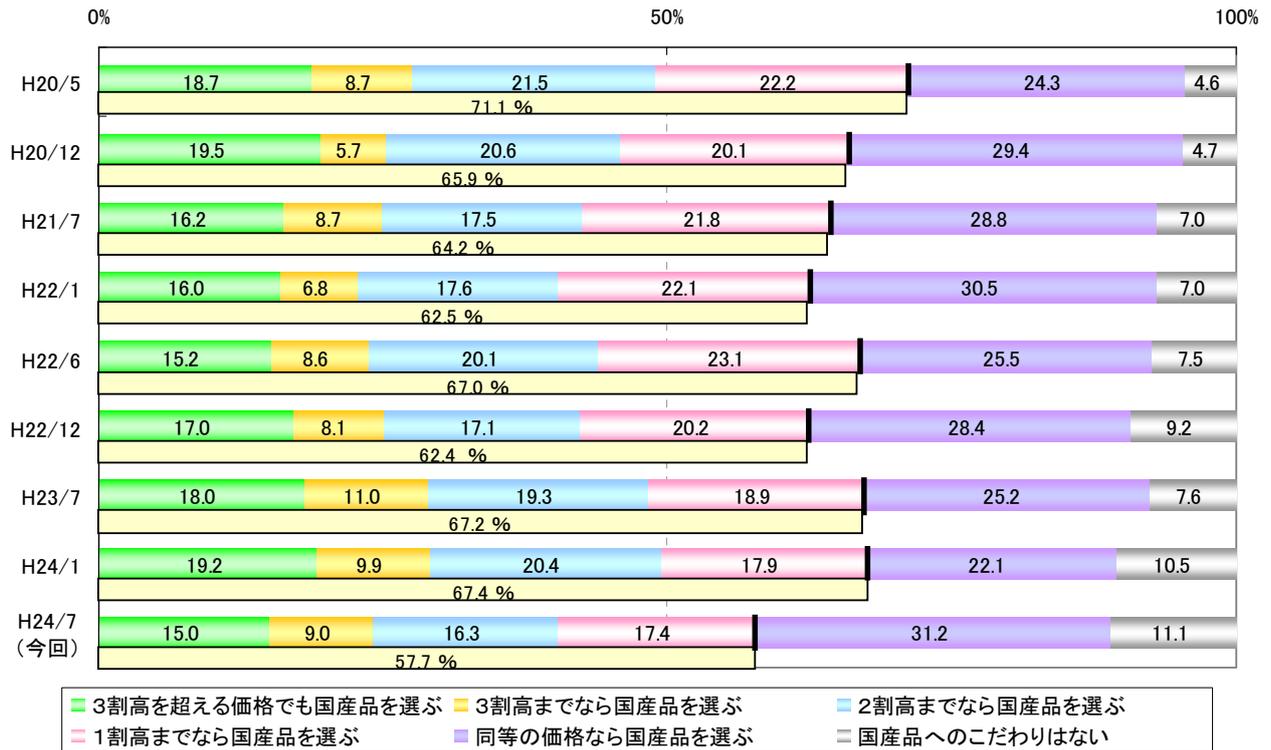


図7 国産食品の輸入食品に対する価格許容度(品目別)

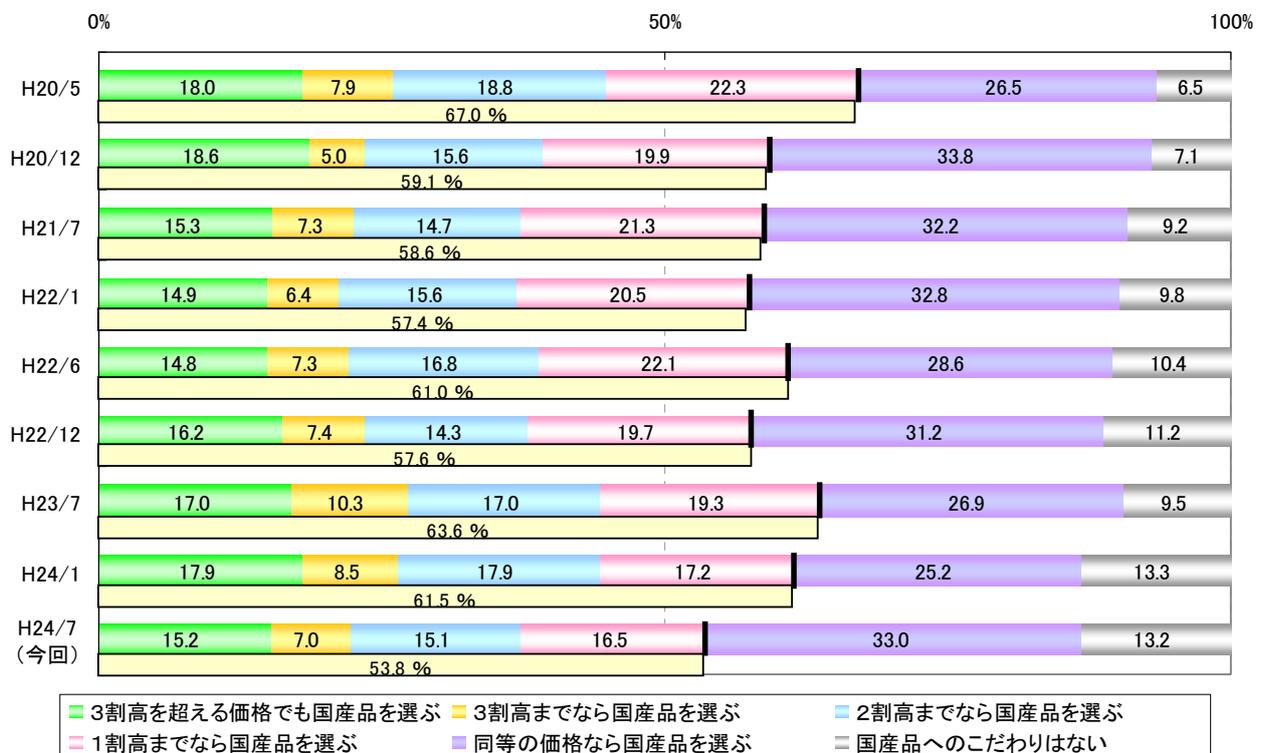
(1)米



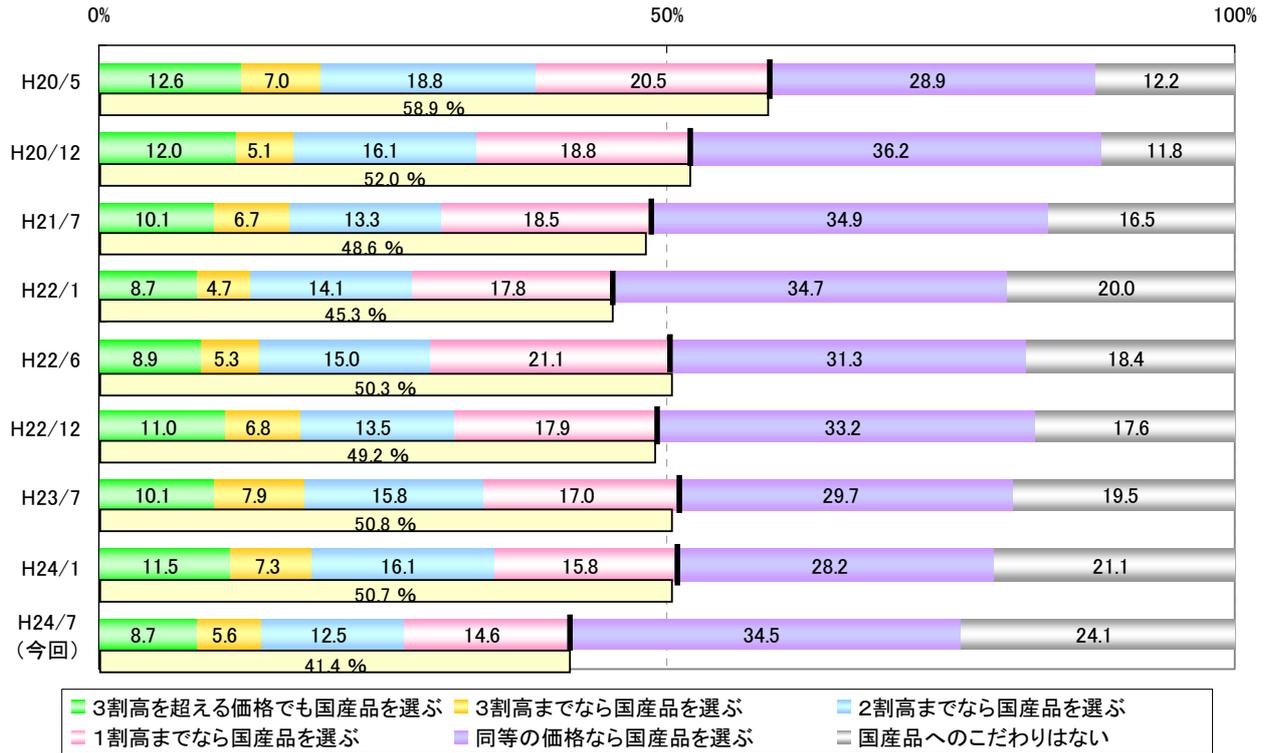
(2)野菜



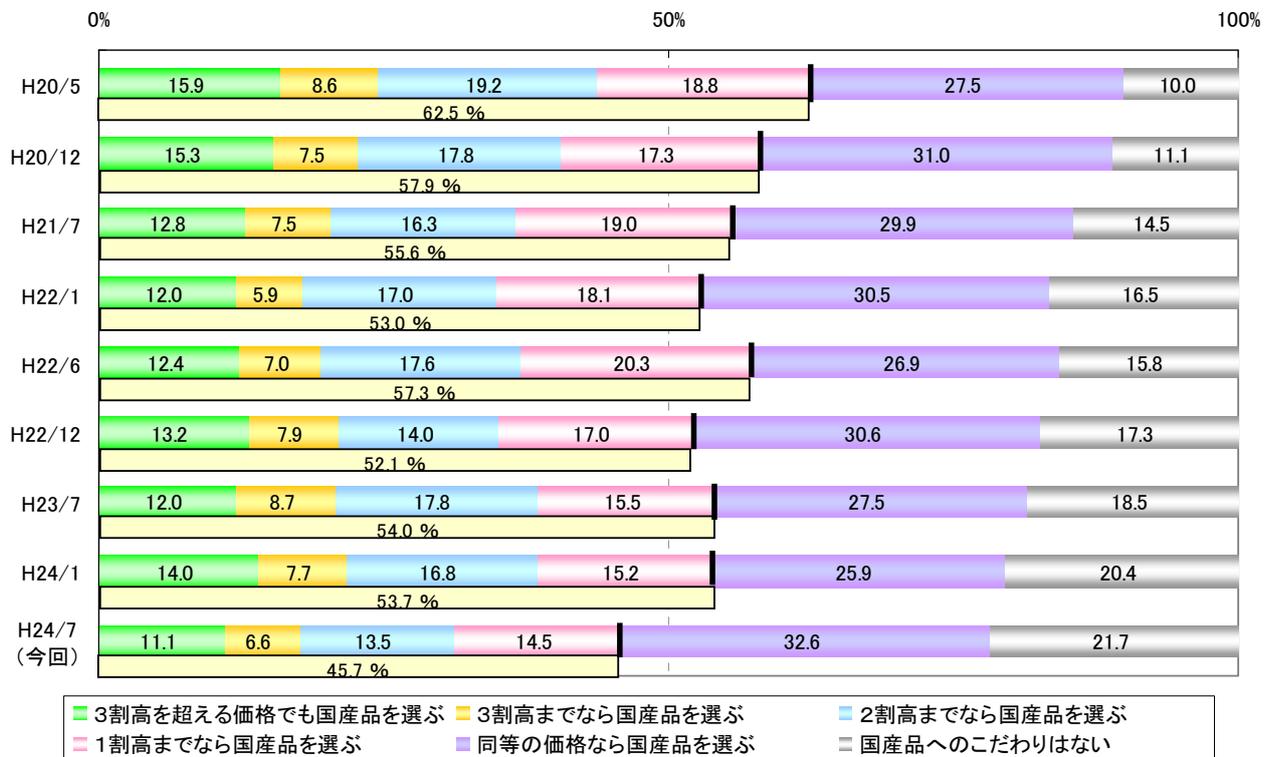
(3)きのこ



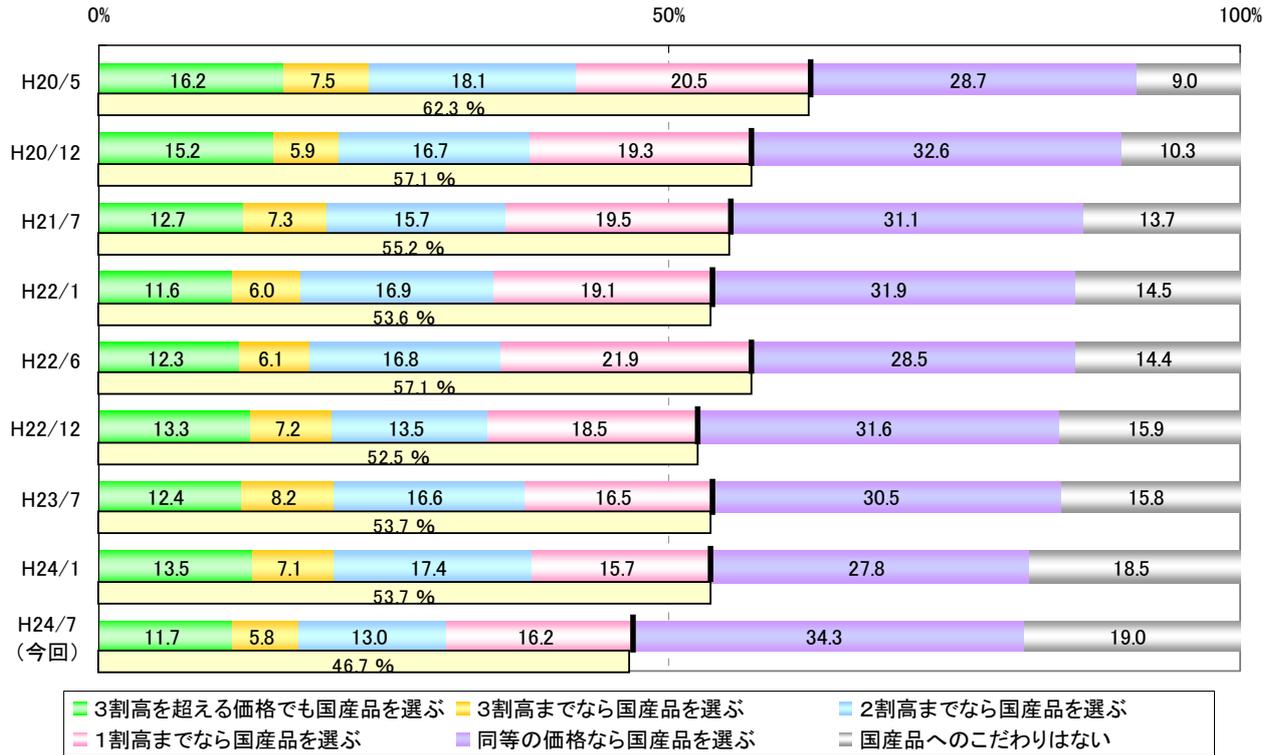
(4) 果物



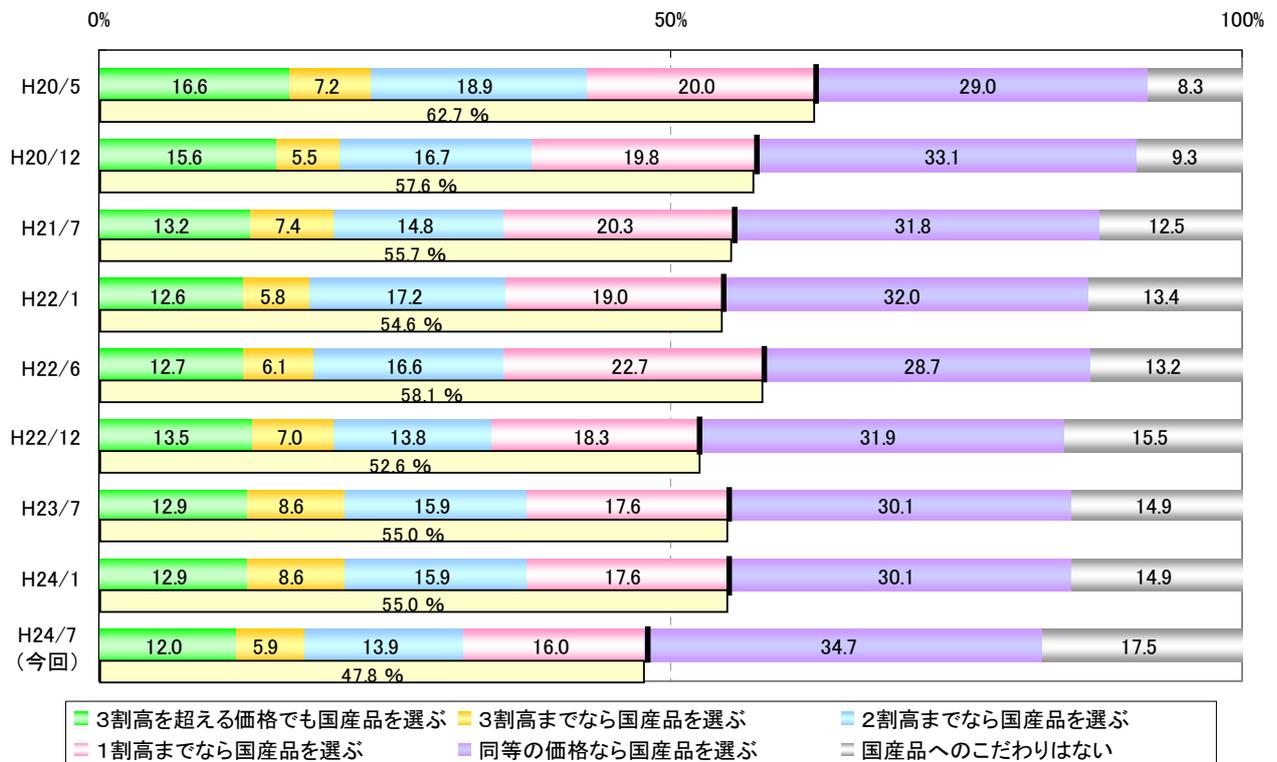
(5) 牛肉



(6) 豚肉



(7) 鶏肉



(8) 魚介類

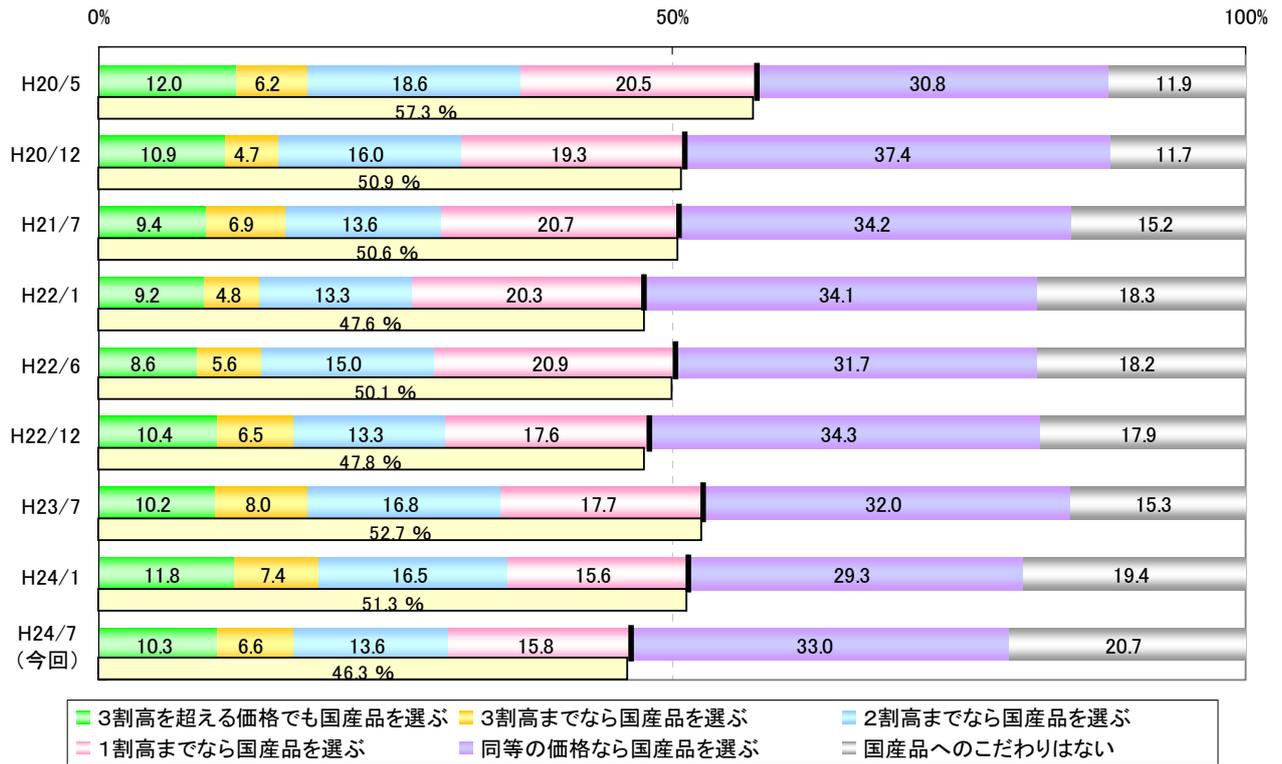


図8 抵抗なく買っている輸入食品(複数回答)

